



学校安全ネットワーク情報

Vol.30

平成27年度

「さいたま市学校安全ネットワーク推進協議会」を開催しました

1 日時:平成27年5月29日(金)10:00~11:00

2 場所:さいたま市役所 第2別館 第3会議室

(委員名簿)

教育委員会副教育長	さいたま市警察部総務課企画補佐官
さいたま市自治会連合会役員	市民局市民生活部次長
青少年育成さいたま市民会議役員	子ども未来局子ども育成部長
さいたま市防犯ボランティア・リーダー	教育委員会管理部長
さいたま市PTA協議会役員 2名	教育委員会学校教育部長
さいたま市立小学校校長会役員	教育委員会生涯学習部長

3 報告事項

(1)平成26年度に学校等から寄せさせた不審者情報について

- ・登下校中の時間帯を中心とした子どもの見守り活動の重要性を確認しました。

(2)学校安全ネットワークの取組等について

- ・見守り活動協力者は年々増加傾向にあり、平成27年度は平成26年度比で約700人増加し、約23,030人となりました。
- ・学校安全ネットワークにおける学校と地域の連携の取組事例として、学校安全ネットワーク(防犯ボランティア)連絡会議の開催、児童による「子どもひなん所110番の家」への訪問、「感しゃの会」の開催を紹介しました。

(3)平成27年度の取組について

- ・学校と地域の連携をより一層深めるために、必要な取組を検討し、多くの人の目で子どもを見守る「学校安全ネットワーク」の強化を図ります。

【具体的な取組】

- ・配達業等の事業者との「子ども安全協定」の締結
- ・防犯ベスト等を購入するための予算の配当
- ・各学校で実施する学校安全ネットワーク(防犯ボランティア)連絡会議への防犯ボランティア・リーダーの派遣
- ・教職員やボランティアの方々の研修会開催
- ・不審者情報の提供



4 協議事項

学校と地域の連携をより一層深めるために、どのような取組が必要か

【委員からの御意見】

- ・ある小学校では、児童が一斉下校をする際に、グループに分かれて、「子どもひなん所110番の家」を訪問し、その家の方と面識を持つようにしたり、訪問の際に児童が手紙と小さな花束を渡したりしている。

この取組は子どもの名前をボランティアが覚えることで親近感が湧くため、大切だと感じる。

- ・ある小学校では、児童に「立ち止まり、お辞儀をして挨拶をする。」よう指導するあいさつ運動を推進したところ、防犯ボランティアの方をはじめ、地域のどの方にも挨拶するようになった。特別なイベントだけではなく、日常の挨拶も重要ではないか。

→教育委員会では、今回の御意見を研修会や防犯ボランティア・リーダー連絡協議会等を通じて周知するなど、学校や地域に働きかけてまいります。

防犯ボランティア・リーダーを防犯会議に派遣しています

教育委員会では、防犯について専門的知識を持っている方(警察OB)や教育関係者(元校長)、地域代表者などの方々を「防犯ボランティア・リーダー」として委嘱しています。

【防犯ボランティア・リーダー一覧】 ※敬称略

- ・富永 美信 ・池田 善四郎 ・宮崎 信一
- ・吉澤 昇 ・鈴木 富美雄 ・後藤 武

防犯ボランティア・リーダーは各小学校で開催する学校安全ネットワーク(防犯ボランティア)連絡会議に参加し、学校における安全体制の効果的・継続的な充実を図るため専門的な見地から指導・助言を行っています。



防犯ワンポイントアドバイス

埼玉県警察が公表している声かけ事案のデータによれば、声かけ事案の発生状況は「女子の被害が全体の約70%」「15時台~18時台の被害が全体の約56%」「道路上の被害が約81%」といった傾向を示しています。最近、県内では、子どもを狙って、つきまとったり、声をかけたりする者や下半身を露出したり、身体を触ったりする者も出没しています。引き続き、見守り活動の御協力をお願いします。